

承認	議長	副議長	事務局長	次長	合議	担当
						

様式第1号

2024年9月23日

真庭市議会
議長 小田 康文 様

真庭市議会議員 伊藤義則 

調査研究、研修会、要請・陳情活動届

政務活動費を使用して、下記のとおり研究、調査等を行うことについて届けますので、承認願います。

記

1 区 分 調査研究 研修会 要請・陳情活動

2 訪 問 先

10月9日 盛岡市 会場トーサイクラシックホール岩手
10月10日 岩手県雫石町

3 内 容

10月9日 講演 主権者教育の新たな研究
10月10日 持続、循環型農業と地域の賑わい創出事
例の観察

4 行 程 別紙のとおり

5 事務局から訪問先への依頼 必要 ・ 不要

(注) 複数の議員で実施する場合、代表者の届けでよいが、参加議員名簿を添付すること。



参加者 中尾哲雄 古南源二 伊藤義則

行程表		本庁	岡山駅	東京駅	盛岡駅	会場
10月9日	交通	自家用車	JR	JR	JR	タクシー
	時刻	4:30	6:01	9:15		
				9:36	11:46	12:00
10月10日	交通	盛岡駅	東京駅	岡山駅	本庁	
	時刻	17:50	20:04			
			20:21	23:35	25:00:00	

宿泊先

メトロポリタン森岡

住所：岩手県盛岡市盛岡駅前通1番44号

電話：019-625-1211

報 告 書

2024 年 10 月 22 日

真庭市議会議長 小田康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 伊藤義則

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 2024年10月 9日（午前・午後）1時00分 至 2024年10月10日（午前・午後）5時00分
2 場 所	10月 9日 盛岡市 会場トーサイクラシックホール岩手 10月10日 雫石町
3 用 件	10月 9日 主権者教育の新たな展開 10月10日 持続、循環型農業と地域の賑わい創出事例観察
4 概 要	参加者 古南源二、伊藤義則

報告書（継紙）

10/9,10 「主権者教育の新たな研究」（岩手県民会館）

（渡辺さん）自分の選択した未来を実現してくれそうな政党、人を選ぶようになる方が良い。議員はもっと街に出よう。

（土山さん）議会が行う主権者教育について

議会は議論する場で教育する機関ではない。

ただ、二元代表制は知られていない。

（遠藤さん）盛岡「おでかけミーティング」を行っている。議員がテーブルを移動しながらファシリテーターを務める。ここで出た課題を一般質問したり、提議につなげる。

（渡辺さん）行政が行っているFutureDesignを議会もやればいい。

例えば、高校生から駅に駐輪場がないと意見が出る。これを議会が執行部へ提案し駐輪場が出来る。高校生が自分の意見で社会の一部を変えることが出来たという体験をした。

（越智さん）「変わるかもしれないという経験は大事です」

➡こういう経験した人は投票に行く。

（土山さん）議会は「議論し、ちゃんともめて」結論を出し、必ず応答する。

その過程を見える化する。その上で主権者教育を行う。

【四日市市議会】の主権者教育の実例

「ワイ！ワイ！GIKAI」の開催（四日市、若者、議会の略）

各常任委員会が、地域の高校・大学に出向いてテーマをもとに意見交換会を開催するというもの。失敗を恐れずTry and errorで行ってきた。

（結果）1. フリートークをすると、色々な議員がいることをわかってもらえた。

2. 相手の要望を実現させることが大事だとわかった。

3. 学校から「ワイ！ワイ！GIKAI」をやって欲しいと言われた。

【山鹿市】議員が実体験を語り、話し合いによって決める民主主義の根幹を子どもの頃から学ぶことは大切である。主権者教育につながる。

11月10日午後より小岩井農場、道の駅 雫石あねっこの見学

【小岩井農場】

130年以上にわたり農林畜産業の発展に取組み、持続型・循環型農業を
実践している。歴史的建築物 21 棟が国の重要文化財に指定され、その
多くが現役で使用されている。

小岩井農場でしか飲めない一号牛舎で育てられた乳牛の牛乳「低温殺菌・
ノンホモ」の牛乳を飲みました。パンフレットには、生乳の風味を活かし
たスッキリとした飲み口でコクと甘みが際立ちます。と書いてありますが
「甘み」は感じられませんでした。時季にもよるのでしょうか。蒜山の
牛乳も残念です。北海道のホテルと牧場で飲んだ牛乳がベストです。
ちなみに売店で買ったチーズケーキも残念です。

【道の駅 雫石あねっこ】

全国初の風土工学によって作られた施設で、雫石の風土や伝統に基づいて
デザインされている。同じ敷地に日帰り温泉施設、そば道場、隣にオート
キャンプ場があり、旅行雑誌の2021年の駅満足度調査で全国2位に選ばれ
た。「あねっこ」とは若い女性を意味し、岩手の魅力が多くの人に根付く
ようにと思いを込めたとのこと。

第3セクターが指定管理を受けて運営している。2023年度実績で来店客
50万人、売上高4億円だそうです。

お土産が多く、野菜が少なかったのでお聞きすると生産者が100人位で
そこが悩みですとのこと。指定管理料2,000万円はもらってないとのこと。
岩手と秋田を結ぶ36号線沿いにあるため、いぶりがっこの製品も多く
生産者を見ると雫石の業者でした。

報 告 書

令和 6 年 10 月 18 日

報告者 真庭市議会議員 氏名 古南 源二 

下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をしましたので、その結果を報告いたします。

1	日 時	自 令和6年 10月9日 (午前・午後) 3時15 至 令和6年 10月11日 (午前・午後) 1時35分
2	場 所	岩手県盛岡市トーサイクラシックホール岩手 岩手県雫石町
3	用 件	10月9日：主権者教育の新たな研究 10月10日：持続・循環型農業と地域の賑わい創出事例の研究
4	概 要	参加者：古南源二、伊藤義則、中尾哲雄以上3名

菅元総理の基調講演は国会開会中のためビデオメッセージが行われた。

「地方議会の課題と主権者教育」と題してパネルディスカッションが行われた。コーディネーターに静岡大学人文社会科学部法学科教授井柳美紀教授。パネラーに法政大学法学部教授土山希美枝教授、WANDER EDUCATION代表理事越智大貴氏、読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局渡辺義久氏、盛岡市議会議長遠藤政幸氏で行われた。統一地方選挙の投票率推移をみれば政治離れが進んでいるように考えられる。人口減



少や少子化を見ても減少率大きい。18歳の投票も伸びているとは言えない。

こども会議の開催や議員との意見交換などで子供期から政治になじむ必要があるのではないかと思う。

2日目の「主権者教育の取り組み課題報告」では、コーディネーターに川村和徳東北大学大学院情報科学科准教授、事例報告者に白鳥敏明伊那市議会議員、諸岡



寛四日市市議会議員（代83代議長）、服部香代山鹿市議長。が出席して事例の報告があった。実践を通して感

10月9日のパネルディスカッションの様子

じることは、生徒学生と意見を交わし政治に親しんでもらうこと、実現可能な提案を通じて政治の世界を感じてもらうことが重要となる。

現地視察においては、小岩井農場において車中から記念物になっている明治期からの牧場の建屋を紹介された。温泉を併設している道の駅「雫石あねっこ」では年間50万人の来場者があり4億円ほどの売り上げがあることが紹介された。岡山県内にはないくらい売店などが入る建屋が土並んでいた。



雫石あねっこのパンフレットより転載

行程表

行き 3:15自家用車→6:01岡山発新幹線→盛岡駅着11:46

帰り 17:50盛岡発新幹線→岡山駅着23:35→自家用車帰着1:36

出会った人

偶然にも全員真庭市への訪問がありました。



議長 佐貫 薫
矢板市議会
〒329-2192 栃木県矢板市本町5番4号
電話(0287)43-6216
FAX 43-6216
E-mail: giann@city.yamanashi.jp
http://www.city.yamanashi.jp/

報 告 書

2024 年 10 月 24 日

真庭市議会議長 小田康文 殿

報告者 真庭市議会議員 氏名 中尾 哲雄



下記のとおり政務活動費を使用して 調査研究・研修会・要請陳情活動をいたしましたので、その結果を報告いたします。

1 日 時	自 2024年10月 9日 午後 1時00分 至 2024年10月10日 午後 5時00分
2 場 所	10月9日 岩手県盛岡市 トーサイクラシックホール岩手 10月10日 岩手県雫石町
3 用 件	10月9日 主権者教育の新たな展開 10月10日 持続、循環型農業と地域の賑わい創出事例観察
4 概 要	参加者 中尾哲雄、古南源二、伊藤義則 詳細 別紙のとおり



第19回 全国市議会議長会研究フォーラム 盛岡に参加

元内閣総理大臣 菅義偉（すがよしひで）が選挙のため出席できず、ビデオメッセージを送ってきた。

「地方議会の課題と主権者教育」について、パネルディスカッション
コーディネーター柳美紀（やなぎみき）「静岡大学人文社会科学部法学科教授」
パネリスト土山希実枝（つちやまきみえ）「法政大学法学部教授」
越智大貴（おちひろたか）「一般社団法人 WONDEREDL CATION 代表理事」
渡辺嘉久（わたなべよしひさ）「読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局」
遠藤政幸（えんどうまさゆき）「盛岡市議会議長」

若者の政治、社会への意識から考える主権者教育の必要性
学校現場における主権者教育の現状、人口減の未来どうなる、高校生議会開催の
検討などが話された。

2日目

課題討議

コーディネーター

河村和徳（かわむらかずのり）「東北大学大学院情報科学研究科准教授」

白鳥敏明（しらとりとしあき）「伊那市議会前議長」

諸岡覚（もろおかさとる）「四日市市議会議長」

服部香代（はっとりかよ）「山鹿市議会議長」

が、「主権者教育の取組報告」高校生議会傍聴と意見交換会の取組や山鹿市議会
が取り組んだシチズンシップ教室について発表された。午後、小岩井農場を視察
小岩井農場の施設21棟が国重要文化財に指定されたことや小岩井の由来など
を聞いた。

中尾哲雄